

< 笑顔いっぱい/元気いっぱい/夢いっぱい ~やり続けて本物にしよう・コツコツがコツ~ >

お年寄り笑う 女子高生

電車の通路に、疲れてしゃがみこんでいるお年寄りを見て、「ぼけてんじゃないの?」「うちのババアなら縁切っちゃう。」と言う女子高生言葉の言葉。

とかく批判される若者の乗車マナーですが、この場合は特異な例かもしれません。

しかし、投書した長島桂子さんが憤っているのは、当の女子高生「言葉の暴力」だけでなく、それをにやにや笑っている大人です。

人を傷つける言葉をためらいもなく口にする人、困っている人に手を差しのべない人、そしてそういう人たちに何も言わない人たち。

人に説教するのは野暮なこと、小さな親切を偽善と見る、そんな風潮はないか。左のような記事を見るたびに、私たち大人の在り方が問われているような気がします。

「子ども笑うな 来た道だ。
年寄り笑うな 行く道だ。」

9月15日(金) 祖父母学級(9:20 受付)
9月18日(月) 祝・敬老の日

町田市 長島 桂子 (高校生 17歳)

学校帰りの電車の中のことである。だいぶ込んでいたが、中程に空間ができており、その真ん中に小さなおばあさんがしゃがみ込んでいた。病気などではなさそうだが、よほどお疲れなのだろう、お年寄りに思っている。

と、私と同時に乗ってきた女子高生一人が突然声をたてて笑いだした。アイドル歌手のような、かわいさである。 「何、あれ。ボケてんじゃない?」「うちのババアがあんな事したら、あたし縁切っちゃう。」あまりのことに心臓がドカンと殴られたような気がした。おばあさんの背中がまた少し小さくなった。しばらくして駅に着くとおばあさんはやっと座ることができた。小さな出来事のようにだが、私には忘れられない。これからますます増える老人への配慮、困っている人を見ても手を差し伸べるところか、悪口を差すのを並べた若者。おばあさんのあの姿は、どこかに心を置き忘れたような今の社会への抗議だったのかもしれない。

私の後ろに、二人の話を聞きながらにやにや笑っている中年女性がいた。彼女は自分も若いことがあることをまだ知らない。

<< ほおの木っ子たちの活躍 >>

第21回全会津小学生リレーカーニバル

9月3日(日)に行われた全会津の陸上大会で、本校の子どもたちは、以下のとおり大活躍をし、「ほおの木」の名を広く知らしめました。

- ◆優勝 6年女子4×100m リレー
5年女子4×100m リレー
6年女子100m
女子80mH
- ◆第2位 男子走高跳 女子80mH
- ◆第3位 女子80mH
- ◆第4位 男子走幅跳 6年男子100m
- ◆第6位 女子800m
- ◆第7位 男子走高跳



耶麻地区理科作品展(入賞者)

耶麻地区小学校20校が参加する理科作品展が本年度も行われました。各校の校内審査を経て出品された作品、合計235点の審査が去る6日(水)に行われ、本校の子どもたちの以下のような素晴らしい成果を残し、「理科研究の二小」が健在であることを示しました。

特選 3点 準特選 3点 入選 4点

※ 子どもたちの学校の様子や各種大会・コンクールでの活躍の様子は学年だよりやホームページで随時お知らせしていきます。